



7-0017

0285

月. 12

機密

機密

急

上  
出

陸軍大臣 小島

機密 第九一號

川上武江下 陸軍大臣

武江下 陸軍大臣

外務省

川上武江下 陸軍大臣

武江下 陸軍大臣

武江下 陸軍大臣

武江下 陸軍大臣

武江下 陸軍大臣

武江下 陸軍大臣

明治三十七年九月十七日

4

一、此の件は、<sup>十月</sup> 閣議で決定した  
旨の通り、上旨通り  
令書により、  
月日

外務省

7-0017

0288

號6852

明治十七年九月二十一日

陸軍省

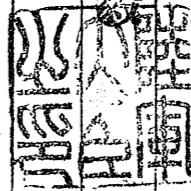
陸軍大臣



陸軍省 滲密發第一之三三號

明治十七年九月二十一日

陸軍大臣 寺内正毅



大日本陸軍省 滲密發第一之三三號

機密送付の事  
此の如く、  
特許の事、  
有る事、  
等、

陸軍省

7-0017

0289

送

次官

明治三十七年十二月廿三日 起草  
同 年 月 日 發 遣

主任

三

小村外務大臣

寺内陸軍大臣

機密送第...の請

の上書記友ト雷作

復ニ云及ルニ件

外務省

大連東宇備軍司令部

附川上書記友ヨリ口地方ノ

情況若クニ云及ルニ云々

考ノルニ隨時ニ電報又ハ書

面ヲ以テ互換セラルニ據先

談其後ニ云及ルニ云々

大臣ノ口ハ云々得居ル次

ハ云々云々云々云々

右にヨリモ時トシテ直橋日記  
記名一電被ニ得ルコトニ致置  
度有る旨告知せ給へ上守備  
軍日今迄一由是迄是等事  
原けぬ事照会す

外務省

7-0017

0291

二一九六號

明治三十七年十二月三十一日

陸軍大臣寺内正毅



皇太后御書

貴方より、遠く在る備軍司令官、河川上幸  
記、及、甚、電、入、殿、之、付、様、島、迄、升、一、日、九、時  
追、テ、其、向、ノ、通、直、政、事、也

陸軍省

生



7-0017

0292





機密

明治三十八年二月十四日  
同 年 二 月 十 四 日 起 草  
日 發 遣

明治三十八年二月十六日  
主任 坂田

政務局長  
小村外務大臣

寺内陸軍大臣

機密送第21號

川上書記長ノ電報

蒙付方ニ送ル件

外務省

遼東守備軍司令部附川  
上書記官ヨリ本大臣ニ送ル  
ノルノ随時平況信又ニ封函シ  
以テ直接<sup>カ大臣</sup>投書セシメ蒙付方ニ送  
ル此年九月十七日附機密送  
第九一號ニ付シ本大臣  
ニ送ル事多シ然レモ異  
後々一但シ蒙付方ニ送ル

手紙

明治三十八年二月十五日

別紙



陸軍省 陸軍大臣寺内正毅

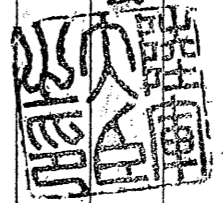
明治三十八年二月廿七日接受

陸軍省

陸軍省 陸軍大臣寺内正毅

明治三十八年二月廿七日

陸軍大臣寺内正毅



外務大臣青木周子

遼東字傳軍司令部附川上書記官より貴大臣、白ヶ敷より電報ノ裁特許ヲ得ス  
直ニ後信ニ得ル極機密送付ニ一々照會有之此後及中地ニテ影響ヲ及ホス  
ノ只軍用電報者信権ニ就テハ臨時ノ規定モ有之此等依送送送ノ通リ特許権有之、送付ノ交ケシムル極機密及此及回送也

陸軍省

機密

明治三十八年三月十日  
同日  
起草

政務局長

中

明治三十八年三月十日

主任



明治三十八年三月九日接受

機密送第9號

遠東方面軍司令部

少村五

川上善次大佐

電信付送ニ付テ

外務省

電信付送ニ付テ本年一月二十日  
附リ以テ外務省申付世筋ノ及帳外  
亦在ニ付テ外務省及申付早ッ軍  
用電林其代帳ニ付テ強テノ規定  
モ有リテ付テ外務省ノ直付  
帳外ニ付テ外務省ノ直付  
回送アリテ付テ外務省ノ直付  
外務省ノ直付